

# 魅力ある中心商店街の形成に関する調査研究

学生会員 ○平賀蓉子※<sup>1</sup> 正会員 南正昭※<sup>1</sup> 平井寛※<sup>1</sup>

## 1. 背景と目的

岩手県盛岡市は、城下町の風情を色濃く残す豊かな歴史・文化資源を有し、盛岡城跡公園や北上川、雫石川、中津川等の自然環境に恵まれるとともに良好な都市景観を形成している。一方、近年では中心市街地、特に商業の衰退が問題となっている。

盛岡市がまとめた中心市街地の現状分析によると、中心市街地の小売店舗数は平成9年の875店が平成16年には765店となり12.6%減少している。また、小売年間販売額に関しても平成9年の115,150百万円が平成16年には86,544百万円となり24.8%減少している。これらは平成12年以降の郊外型小売店舗の出店増加、特に平成15年と平成18年に郊外の前潟地区と盛岡南新都市地区にそれぞれオープンした大型小売店舗の影響が大きいと示されている。そこで本研究では、中心商店街と郊外型小売店舗それぞれの満足度についてアンケート調査を実施し、人々が求める魅力ある中心商店街の形成への糸口を見つけだすことを目的とする。以下、中心商店街を商店街、郊外型小売店舗をSCと略す。

## 2. 調査内容

商店街の長所・短所を把握し改善点を探るため、盛岡市在住の男女計47人に商店街とSCそれぞれについてアンケートに回答してもらった。

実施期間は、平成23年12月から平成24年1月の間で、直接配布・直接回収にて実施した。

調査項目は、個人属性、満足度、情報の入手方法等である。満足度は五段階評価で、満足・少し満足は満足、不満・少し不満は不満とまとめる。

なお、今回の調査では商店街は大通りとその周辺施設を含めたものとし、SCはイオンモール盛岡店とイオンモール盛岡南店の二つとした。

## 3. 調査結果

### 3-1. 回答者の属性

性別は男性が34%、女性が66%である。職業は学生が21%、主婦が21%、パートが13%、社会人が41%、その他が4%である。年代は20代が39%、30代が26%、40代が7%、50代が17%、60代が11%である。

### 3-2. 満足度

#### 1) 飲食店

満足の割合はSCの28%に比べ、商店街は32%と高かった。しかし残りの割合をみるとSCは普通の割合が55%と半数を占めているのに対し、商店街は不満の割合が34%と満足と不満の割合が同じくらいであった。

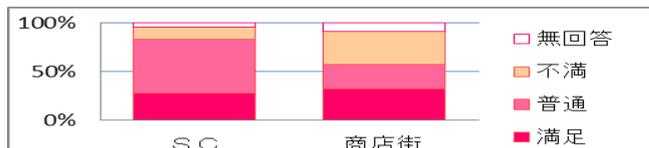


図1 飲食店の満足度

#### 2) 服・雑貨類

満足の割合はSCが40%、商店街は10%であった。不満の割合はSCの24%に比べ、商店街は49%とSCの約2倍であった。



図2 服・雑貨類の満足度

#### 3) 娯楽

満足の割合はSCの17%に比べ、商店街は24%と高かった。しかし残りの割合をみるとSCは普通の割合が64%と高率を占めているのに対し、商店街は不満の割合が25%と満足と不満の割合が同じくらいであった。

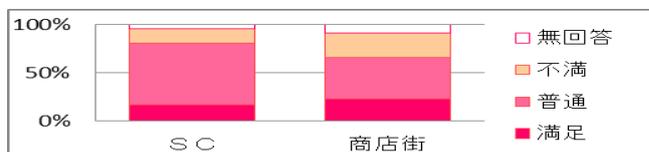


図3 娯楽の満足度

#### 4) 雰囲気・景観等

満足の割合はSCが37%、商店街は9%であった。また残りの割合をみると、半数を占めているのがSCは普通の割合であるのに対し、商店街は不満の割合であった。

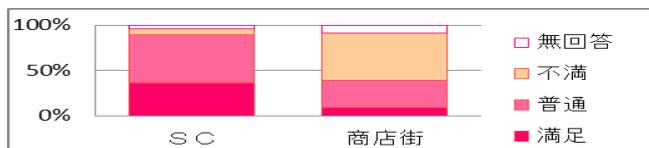


図4 雰囲気・景観等の満足度

## 5) 駐車場

満足の割合はSCが29%、商店街は6%であった。不満の割合はSCの26%に比べ、商店街は53%とSCの約2倍であった。

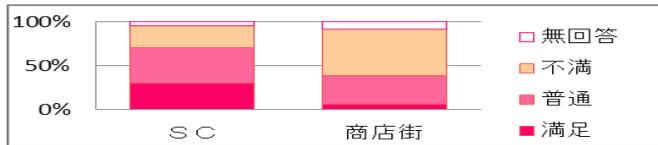


図5 駐車場の満足度

### 3-3. 情報の入手先

SCは店が23件と最も多く、ちらしが14件、HP、CMがともに3件、無料情報誌が2件である。商店街は店が23件とSC同様最も多く、ちらしが10件、無料情報誌が6件、HPが3件、CMが2件となり、SCよりもちらしは減るが無料情報誌は多い。

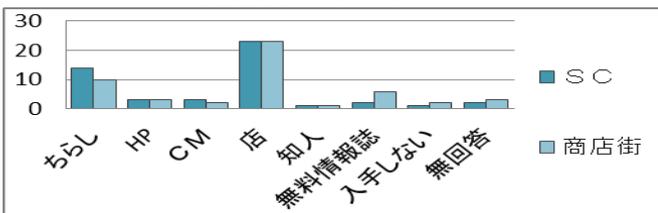


図6 情報の入手先

平成23年12/2~12/30まで商店街で実施された「歳末夢フェスタ」というフェスタ参加店で二千元買うごとにスクラッチカードが一枚もらえるという店の共同事業について知っているか、どう思うかを調査してみた。知っているとの回答はわずか13%であり、知らないとの回答は87%であった。しかし、歳末夢フェスタのような共同事業をいいと思うとの回答は74%と高率を占めた。

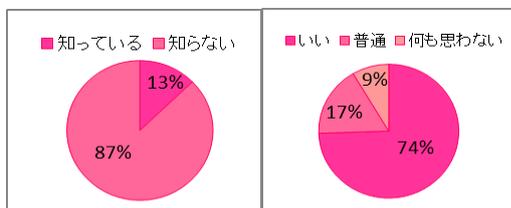


図7 歳末夢フェスタについて

### 3-4. 希望・要望

商店街に求める希望・要望を自由記述で回答してもらった。回答の割合は74%で、数は54件である。要望内容は、居酒屋以外の魅力ある店の増加が13件、駐車場の無料化もしくはサービスの充実が11件、イベントの増加が6件、子供と利用しやすい店の増加が4件、店やイベントの情報、手頃な値段の店の増加、休める場所の提供がそれぞれ3件、その他が11件である。

## 4. 考察

商店街においては飲食店、娯楽の二つは満足の割合

がSCよりも高い反面、満足の割合と同じくらい不満の割合もあった。服・雑貨類、雰囲気・景観等、駐車場の三つは満足の割合が低く、不満の割合が半数を占めた。

#### ・飲食店について

満足の理由は種類が豊富、美味しいなどがあり、不満の理由は店が少ない、個性がないなど真逆の意見であった。美味しい店があるけれども気に入らない、もしくは知らないという可能性がある。図7をみると歳末夢フェスタを知らない人の割合は13%であるのに対し、いいと思う人の割合は74%と高率を占めた。これより情報を周知することが利用者増加につながるのではないかと考えられる。図6からちらしや無料情報誌ならば普段商店街に来ない人にも情報が行き渡る可能性が大きいと予想されることより、毎月商店街の店を紹介するちらしを発行するなど、商店街特集号のようなものがあればいいのではないだろうか。

#### ・娯楽について

満足の理由で映画館を気に入っていると回答した人が21%であった。今後も商店街に人を呼び続けるための大きな役割を果たすことのできる分野であることがわかる。

#### ・服・雑貨類について

不満の理由で店の数が少ないと回答した人が19%であった。要望にも魅力ある店の増加を求める意見があることから、空き店舗に服・雑貨類の店を導入していけばいいのではないだろうか。

#### ・雰囲気・景観等について

不満の理由は居酒屋が多いため昼間が暗く感じる、シャッター街である、ふらっと入れる店が少ないなどであった。要望でも居酒屋以外の店を増やして欲しいと求める意見があることから、服・雑貨類のような日中に人が集まる店を増やす必要がある。

#### ・駐車場について

不満の理由で高い、有料であると回答した人が21%であった。要望でも改善を求める意見があることから、無料化は困難でも共通のサービス券を発行するなど商店街の協力が必要不可欠である。また指定駐車場が探しづらいという理由もあり、飲食店についての際に提案したちらしや無料情報誌に駐車場の地図を掲載するのもいいのではないだろうか。

## 5. 参考文献

- 1) 盛岡市中心市街地活性化基本計画
- 2) 盛岡市商店街連合会